



新しい一の宮中央支所



CONTENTS

(主な内容を紹介しています)

- ◇一の宮中央支所落成……………2
- ◇「グリーンなんごう」オープン……………3
- ◇JA阿蘇役職員大会／辞令……………4
- ◇理事会・監事会報告……………5
- ◇小国郷営農センター畜産大賞……………6
「ジャージーヨーグルト」
ふるさと食品コンクール会長賞
- ◇熊本県野菜振興大会……………7
宮崎徳雄・さち子夫妻に最優秀賞
- ◇熊本県農業コンクール……………8
JA阿蘇から各部門に入賞
- ◇JA支所訪問「やまびこ」……………10
- ◇南部地区座談会……………11
- ◇土づくりセミナー……………12
- ◇JA植木まつり……………13
- ◇JA阿蘇「旬な男・鮮な女」……………14
- ◇「意見投書箱」ご利用のお願い……………15
- ◇JA阿蘇ホームページのご案内……………16



鮮な女 白石さん

グリーンなんごう

旬な男 村上くん

野山も里も、みどり萌える！



祝 落成

組合員のより所、地域の拠点
として一の宮中央支所の
新事務所が完成

J A 阿蘇「一の宮中央支所」

新住所 〒869-2612

阿蘇郡一の宮町大字宮地543

電話 0967-22-1321

FAX 0967-22-2110



完成した新一の宮中央支所

今年1月から工事が進められていたJA阿蘇一の宮中央支所(坂本光信支所長)がこのほど完成し、落成式が4月1日午前9時から現地(JA阿蘇本所斜め向かい)で行われました。当日は早朝から雨天となりましたが、JA阿蘇・地権者・行政・経済連・施工業者・支所運営委員・各園芸部会・年金友の会・青壮年部・女性部・職員など各関係者約70人が出席しました。

落成の神事がおごそかに執り行われた後、丸山信義組合長が「一の宮中央支所関係の組合員1,214人待望の新中央支所が完成しました。新中央支所は自然の木を生かした造りとなっており、大ホールや小会議室も完備されています。この新しい中央支所を組合員のより所として、また地域の拠点として大いに活用してください」と挨拶。そして設計管理担当の県経済連施設住宅部、工事担当の佐藤工務店、地権者の後藤昭範さんに感謝状が贈られました。

完成した新しい一の宮中央支所は、鉄骨平屋



落成式神事

造りで敷地面積約5,100㎡、床面積765㎡で、中央支所フロアのほか大会議室、小会議室、駐車スペース約70台などを備えています。

一の宮中央支所としては4月21日から正式に稼働し、それにともなって宮地・坂梨・古城・中通の4支所が中央支所に統廃合されました。

全職員が農協づくり、地域づくりを確約
＝JA阿蘇役職員大会開催＝



大会にはJA阿蘇の役職員約500人が参加した

役職員1人1人が目標管理制度に取り組み、職員個々の意欲と能力向上を図ろうと「第1回JA阿蘇役職員大会」が3月1日、阿蘇町立体育館で開かれました。

まず、丸山信義組合長が「現在、日本の稲作農家はWTO農業交渉やコメ政策改革大綱など大きな問題を抱え、存在の危機にある。JA阿蘇は合併して3年目を迎えるが、このようにときだからこそ役職員全員が持てる力を発揮し、農協づくり、地域づくりに果敢に取り組もう」と訴え、工藤寛明総務参事から

● 各部の大会スローガン ●

- 【営農部】 何が何でもやるぞ！阿蘇農畜産物のブランド化
- 【金融部】 利用者「組合員・地域住民」から選ばれるJAバンク阿蘇を目指そう。
- 【共済部】 地域における利用者・満足度・利用度の「地域NO1」を目指そう。
- 【購買部】 生産・生活資材のトータルコスト低減とシェア拡大に取り組もう。
- 【監査室】 業務運営の合理化・効率化に資する内部管理体制の強化をはかろう。
- 【総務部】 役職員の意識改革と目標設定に向けた自己責任の確立を図ろう。

事業実績報告が行われました。

続いて、静岡県三ヶ日町農協元参事の中川晋氏が「協同は力なり」という演題で、これまで実践してきた豊富なデータを示しながら、組合員に地域に貢献するJA活動について講演を行いました。

講演終了後、購買部の後藤弘之助さんから職員代表20人がステージに上がり、JA阿蘇6部署から提示された大会スローガンの唱和と採択を行い、ガンパロウ三唱後、閉会しました。

辞 令 名 簿

氏名	旧職名	発令年月日	辞令の内容
山口 光浩	一の宮中央支所購買課購買係 (一の宮グリーン)	平成14年11月1日	波野中央支所波野給油係
岩下宗之助	中部営農センター園芸課園芸係 (一の宮駐在)	平成14年11月1日	一の宮中央支所一の宮給油係
市原 尚子	購買部事務処理課事務処理係 (グリーンショップやまびこ)	平成14年11月1日	阿蘇町中央支所購買課購買係
甲斐喜代美	坂梨支所金融共済係	平成14年11月12日	一の宮農機具センター事務係
山本 孝子	一の宮中央支所金融共済課渉外係	平成14年11月12日	坂梨支所金融共済係
甲斐喜代美	一の宮農機具センター事務係	平成14年12月2日	坂梨支所金融共済係
山本 孝子	坂梨支所金融共済係	平成14年12月2日	一の宮中央支所金融共済課渉外係
山内今朝重	尾ヶ石支所共済兼融資係	平成15年2月1日	尾ヶ石支所長
佐藤 春生	久木野中央支所購買課長	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店店長
後藤 良多	長陽中央支所購買課長	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店課長
後藤 浩幸	白水中央支所購買課購買係	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店調査役
高宮 良郎	白水中央支所購買課購買係	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店係
長崎きよみ	白水中央支所購買課購買係 兼女性の会係	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店係
古澤 勝己	久木野中央支所購買課購買係	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店係
渡邊 美穂	久木野中央支所購買課購買係 兼女性の会係	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店係
岩下 一広	長陽中央支所購買課購買係	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店係
中田 舞	長陽中央支所購買課購買係	平成15年2月12日	JAグリーンなんごう店係
高宮 由雄	白水中央支所購買課長 兼南部購買店舗準備室長	平成15年2月18日	白水中央支所購買課長

理事会・監事会報告

平成15年1月から3月までの間、理事会および監事会が下記の通り開催されましたので、そのご報告をいたします。

■第10回理事会

日時 平成15年1月23日午後1時30分
場所 阿蘇町東部支所2階会議室

1. 開会
 2. 組合長挨拶
 3. 協議事項
12月末実績報告
 - (1) 平成14年度上半期監事監査回答書について
 - (2) 貸付金について
 - (3) 信用事業方法書の変更について
 - (4) 畜産近代化リース事業について
 - (5) 債権対策推進班設置要領の変更について
 - (6) 支所管理規程の変更について
 - (7) 役員大会について
 - (8) 今後のスケジュールについて
 - (9) 臨時理事会の開催について
 - (10) その他
- 報告事項 コンプライアンス点検実施結果報告
平成14年度汎用コンバイン導入固定
資産取得について

■第11回理事会

日時 平成15年3月6日午後1時30分
場所 阿蘇町東部支所2階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
1月末実績報告
- (1) 平成14年度導入家畜等棚卸監事監査報告について
- (2) 平成14年12月末資産査定結果について
- (2) -①平成14年度資産査定監事監査実施について
- (3) 平成14年度資産査定県監査部(中央会)監査実施について
- (4) 貸付金について
- (5) 信用供与の限度額変更について
- (6) ジャステム移行に伴う端末機設置台数及び取得価格について
- (7) 有価証券減損処理基準について
- (8) 熊本県統一JA住宅ローン新商品の取扱及びJAクローバローン特例対応に伴う融資要綱の一部改正について
- (9) 一の宮中央支所管内店舗統廃合について
- (10) 業務用車輛のリースバック方式について
- (11) 食品表示及び無登録農薬に関する職制規程の改正について
- (12) 支所管理規程の変更について
- (13) その他

■第12回理事会

日時 平成15年3月20日午後1時30分
場所 阿蘇町東部支所2階会議室

1. 開会
 2. 組合長挨拶
 3. 協議事項
2月末実績報告
 - (1) 平成14年度資産査定監事監査報告について
 - (2) 貸付金について
 - (3) 共済担保貸付利率の変更について
 - (4) JA教育センター土地(県有地)の取得と「教育振興資金」の取扱いについて
 - (5) 熊本県農協教育基金の取扱いについて
 - (6) (株)熊本アグリシステムの株式取得について
 - (7) 業務用車輛のリースバック方式について
 - (8) その他
- 報告事項 平成14年度決算棚卸監査実施について

■第7回監事会

日時 平成15年3月18日午後1時30分
場所 本所2階会議室

1. 開会
 2. 常勤監事挨拶
 3. 議題
 - (1) 平成14年度資産査定監事監査報告について(平成14年12月末)
 - (2) 平成14年度決算棚卸監査実施について
 - (3) 平成14年度決算事務監事監査実施について
 - (4) 今後の日程について
 - (5) その他
4. 閉会



理事会の様子(平成14年12月)

小国郷営農センター、畜産大賞地域振興部門で「最優秀賞」を受賞。地域活性化へ多大な貢献が評価される



2002年度畜産大賞（（社）中央畜産会主催、農林水産省など後援）の地域振興部門で、小国郷営農センター（大塚嘉久センター長）が最優秀賞を受賞しました。これは、昭和32年に初めてジャージー牛を導入以来、45年間にわたって酪農郷を築き上げ、牛乳のほかバター、チーズ、アイスクリーム、ヨーグルトなど独自に商品開発を行い、1次（生産）・2次（加工）・3次（販売）産業を合わせた“第6次産業”を興すことによって、生産高5億5,000万円（平成13年度）のジャージー牛乳が、それを原料とする加工品の生産販売や雇用創出などにより約15億円もの経済効果を地元にもたらし、地域活性化の推進力として大きく貢献してきたことが評価されたものです。現在、小国郷では25戸の酪農家が約1,100頭を飼育しています。

畜産大賞の業績発表および表彰式は1月20日、東京・虎ノ門パストラル鳳凰の間で行われ、丸山信義組合長、大塚センター長ら関係者多数が参加して盛大に行われました。

審査講評後、業績発表が行われ大塚センタ



一長が「ジャージー牛乳を活かした小国郷酪農の第6次産業化への取り組み」と題し、今日までの活動事例を述べました。その後、表彰式に移り、丸山組合長と大塚センター長に表彰状と記念のトロフィーが贈られました。

「JA阿蘇小国郷「ジャージーヨーグルト」優良ふるさと食品中央コンクールで会長賞



全国各地で生産されている地域食品“ふるさと食品”の品質向上および活性化を目的に行われる平成14年度「優良ふるさと食品中央コンクール国産畜水産品利用部門」（農林水産省・（財）食品産業センター共催）で、小国郷のジャージーヨーグルト（飲むタイプ）が、食品産業センター会長賞を受賞しました。表彰式は3月11日、千葉・幕張メッセで行われ、出席した丸山信義組合長と石松雄平事業課長に表彰状と記念品が渡されました。

ジャージーヨーグルトは、ジャージー牛乳の生乳100%と3種類の低温乳酸菌を使用し、1cc当たり7億の乳酸菌が生きたまま入っています。さらにジャージー牛乳の濃厚さを出すために粘度にこだわり、酸味を少なくし、ジャージー牛乳本来の深い味わいを生かした仕上げとなっています。

なお、同ヨーグルトは平成14年度県農産物加工食品コンクールで熊本県賞を受賞しています。

熊本県野菜振興大会

最優秀賞に宮崎徳雄・さち子さん夫妻（小国町）
功労表彰者に後藤光春さん（一の宮町）
功労表彰団体に久木野トマト部会



県野菜振興大会開会式

第44回熊本県野菜振興大会（県野菜生産者大会）が平成15年2月8日、菊池郡泗水町の町民ホールで開かれ生産者・JA関係者ら約400人が出席しました。大会では松村秀一会長（県経済連合会長）が主催者挨拶を述べ、平成14年度県野菜経営コンクール、県野菜園芸功労者および功労団体の表彰式が行われました。コンクールの最高賞である会長賞の最優秀賞には小国町の宮崎徳雄・さち子さん夫妻が選ばれ、併せて農林水産大臣賞と熊本県賞を受賞しました。

また、野菜園芸功労表彰者には一の宮町の後藤光春さん、功労表彰団体にはJA阿蘇久木野トマト部会（古澤精介部会長ほか27人）が選ばれ、ステージでそれぞれ表彰状と記念品が贈られました。

最優秀賞に選ばれた宮崎さん夫妻の営農は家族労力3.2人で、ダイコン450aを中心に繁殖牛7頭、水稲78a、シイタケ栽培を組み合わせ合わせた複合経営で、標高差を利用し品種やマルチの種類などを組み合わせ長期安定出荷体制を確立しています。ダイコン栽培は1圃



最優秀賞の宮崎さん夫妻



功労賞の後藤光春さん



久木野トマト部会の古澤精介部会長

場年1作で、豆科やイネ科作物との輪作により土壌消毒をしない栽培体系を確立。超深耕による高品質ダイコンの生産に努めています。省力化では、播種同時マルチ機、葉切り機、洗浄機等の機械化がはかられています。さらに低価格の袋詰め器を独自に考案して部会員から喜ばれています。販売では袋詰め「丸ごと一本」など、販売戦略の提案も積極的に行っています。

終了時には「大会決議」（下記）が採択されました。また、関連行事として県農業公園で「熊本県野菜まつり」が開かれました。

「大会決議」

- 一、農業の構造的変革に対応できる強固で結束力のある生産組織の確立
- 一、生産者の自助努力と自己責任による信頼される生産・流通体制の確立
- 一、消費者ニーズにあった安全・安心な熊本野菜の提供と情報の開示
- 一、健康増進【毎日野菜350g・果実200g】摂取運動の展開

★ **第43回県農業コンクール**
J A阿蘇から各部門に入賞

優れた農家や組織を発掘して、県内農家の振興をはかることを目的とした平成14年度（第43回）熊本県農業コンクール大会表彰式が2月14日、熊本県庁地下大会議室で行われました。式には受賞者や農業団体関係者ら約350人が出席、潮谷義子知事、前鶴義博JA熊本中央会副会長らが祝辞を述べました。続いて審査結果の報告が行われ、部門別の表彰に移りました。

JA阿蘇からは自立経営部門特別賞に（有）フレンドリー竹原牧場の竹原憲一・むつ子さん夫妻（阿蘇町）、組織部門優良賞に西原村の農事組合法人依山交流館「萌の里」（大谷光明理事長）、新人王部門特別賞に小林公子さん（白水村）、地域貢献賞には高村秀親さん（南小国町）が選ばれました。また阿蘇地区からは長陽村の（有）阿蘇菜草園ハーブの里（井澤敏さん・山名保子さん）が、環境保全型農業部門優良賞に輝きました。



チョウなども飼育し、観光客（消費者）と交流している。将来の目標は2,000頭規模の大規模酪農経営、また牧場には宿泊施設も整備し来園者の増加を目指したいとしている。



組織部門優良賞
農事組合法人依山交流館
「萌の里」（大谷光明理事長）



西原村の物産交流施設「萌の里」の管理運営をするため平成12年法人化された。組合は71戸の農家と1団体で構成される。「萌の里」は依山中腹の県道28号沿いにあり、熊本市方面から南阿蘇方面へと至るルート of 玄関口となっており、四季折々観光客が訪れる。そのため、今後は農産品の出品だけでなく各種交流イベントも行いながら、さらに観光スポットとしての拠点づくりを進める。



自立経営部門特別賞
（有）フレンドリー竹原牧場
竹原憲一・むつ子さん



経産牛120頭をメインに、家族で分業しながらアイスクリーム工房やレストランなどを備えた観光農園「フレンドリー竹原牧場」を平成12年オープンさせた。阿蘇五岳のふもとに広がる観光農園では乳牛のほかミニ豚やダ





新人王部門特別賞 小林公子さん



熊本県立農業大学校を卒業後、両親と共に繁殖牛65頭、肥育牛22頭、子牛40頭を飼育。自給粗飼料を主に受精卵移植技術導入で高品質肉用牛の生産を目指している。さらに、地域農業の特性を生かし水稲農家の稲わらと自家堆肥を交換し、耕畜連携による自然循環型農業を進めている。同時に自給粗飼料に加え自家配合の濃厚飼料を使うことでコストの低減と肉質向上をはかっている。



地域貢献賞 高村秀親さん



地域貢献賞受賞の高村秀親さんは、連作障害を防止するため原野を借り上げて、ダイコン栽培後に牧草地にするなど原野の有効利用に尽力をした。

宮崎安祝さんと甲斐末喜さん 県農業功労者表彰を受ける

農業に20年以上励み、農業団体などの指導的地位に10年以上就き、県農業の発展に尽くした人を対象に表彰する平成14年度熊本県農業者功労者に、小国町の宮崎安祝さんと一の宮町の甲斐末喜さんら17人が選ばれました。表彰式は1月14日、熊本県庁で行われ、潮谷義子知事から表彰状と記念品が贈られました。

県花き園芸功労者に河津正純さん

平成14年度熊本県花き園芸功労者に阿蘇地区から南小国町の河津正純さんが選ばれ1月31日、JA熊本教育センターで行われた表彰式で、潮谷知事から表彰状と記念品が贈られました。



環境保全型農業部門優良賞 (有)阿蘇薬草園ハーブの里

薬草、緑茶、独自に品種改良したサラダかぼちゃなどを栽培し、農業・化学肥料・草取りのすべてを省いた「3NO(ノー)主義」による農作物づくりを実践している。また、農作物の生育促進や病害予防に役立つ薬草数十種類をブレンドしたオリジナル液肥を開発し、米糠や魚骨粉などを混ぜた有機肥料も考案し、環境保全型農業の普及にも努めている。



J A支所訪問(第7回)

J A阿蘇の各支所や施設を紹介する「J A支所訪問」。今回は「グリーンショップやまびこ」です。

グリーンショップやまびこ

阿蘇町大字内牧294

電話0967-32-4412

FAX0967-32-1449

■ 阿蘇町のほぼ中央部に位置する

阿蘇町中央支所の購買店舗「グリーンショップやまびこ」(伊藤健司購買課長・職員21人=臨時含む)は、阿蘇町内牧の南方、阿蘇町のほぼ中央部にあり、県道175号と国道212号を東西に結ぶ道路沿いにあります。周囲には圃場が広がり、立地する敷地内には「農機車輛センター」や「野菜集送センター」があります。

「やまびこ」は生産資材や生活用品購買の拠点店舗として、平成11年4月にオープンしました。店舗面積は1,115㎡(338坪)の1フロアで、営農資材・営農工具・肥料・飼料・農薬・米・食品・雑貨・作業衣などが揃っています。

営業時間は午前8時15分から午後5時30分。店休日は第2・4日曜となっており、農繁期(4・5・8・9月)には午前7時45分から午後6時までの無休となり、組合員への利便をはかっています。

■ 「歯ブラシ1本から配達！」

旧J A阿蘇町の頃から「歯ブラシ1本から配達します」をキャッチフレーズに、「きめ細かなサービスを組合員に提供する」をモットーにし



やまびこ職員のみなさん

た店づくりを進めてきただけに、その精神は今も引き継がれています。効率的に配達するため4つの配送ルートを定め、午前中に注文を受けた品物は午後から配達。午後から受けた注文は、翌日午前中に配達を完了させるようにしています。

また、職員全員が組合員(買物客)とのコミュニケーションがスムーズにはかれるように大きな名札を胸に付け、間違いやトラブルが起こらないように努めています。さらに高齢者や女性の組合員が肥料など重量があるものを購入した場合には、職員が品物を車まで運び荷台に載せるという、基本的なサービスを怠らないように心がけています。

しかし、利用者の中には「合併前は営農センターが一緒だったので、例えば、営農指導を受けてから必要な肥料などを買うことができたが、営農センターが別の場所に移ったので、少し不便になった」という意見もあるようです。



■ “あんしんキャッチ24システム” 推進中

やまびこの責任者である伊藤課長は「とにかく組合員の方々に品切れなどで迷惑や、余分な負担をかけないように在庫管理などに万全の注意を払っています。現在、力を入れているのが“配置菜”や“食材配送”の拡充と、プロバングスの“あんしんキャッチ24システム”の推進です。このシステムは、プロバングス配置先(利用者)とを電話回線を通してコンピュータで管理するシステムです。このシステムが100%稼働すれば、安全管理と残量の把握などがいちいち配置先を訪問しなくても分かるようになり、また、お客様(配置先)の消し忘れなど万が一の場合も、電話一本でストップ(消火)できます」と語っていました。



やまびこ店内(写真上)とレジ(写真下)

組合員とJA役員が直接対話する 地区座談会を開催 ＝ 南部営農センター管内 ＝

JA阿蘇の各事業実績や、その推移などについて組合員と役員とが直接話し合う南部地区座談会が3月、南部営農センター管内の各地区で行われました。3月24日、久木野村民センターで開かれた「久石・河陰地区座談会」には、地区の組合員および丸山信義組合長、中尾雄二副組合長、後藤安弘常務、支所担当の工藤保雄・今村健正両理事、今村弘文南部営農センター長、市原哲志久木野中央支所長ら約60人が出席しました。

支所担当理事の挨拶後、丸山組合長が「農業を取り巻く環境が厳しい中、JA阿蘇は合併3年目を迎えた。組合員へのサービスの低下をきたさないようにしながら、さらにJAの改革を進めなければならない。同時にスケールメリットを出せるように生産部会の統合を進めたい」など述べ、WTO交渉支援や無登録農産物追放への一層の協力を呼びかけました。

その後、議事に移り各事業部門ごとの詳細な実績報告や質疑応答が行われました。



阿蘇地域の「耕畜連携」をはかる “土づくりセミナー”開催 注目のペレット堆肥を具体的に説明



家畜排せつ物管理法への対応

「耕畜連携による堆肥の有効利用を進めよう」と、土づくりセミナー（主催：JA阿蘇・阿蘇農業改良普及センター・阿蘇地域農業振興協議会畜産部会・くまもと21農業振興運動阿蘇地方推進本部）が3月12日、阿蘇町跡ヶ瀬の大阿蘇環境センター未来館会議室で開かれました。

セミナーには関係者約40名が参加。先ずペレット堆肥（成分調整成型堆肥）散布のデモンストレーションが会場近くの圃場で行われました。その後、講演会に移りました。講演ではペレット堆肥の説明、阿蘇地域の堆肥化施設紹介。そして「阿蘇地域の土壌と土づくりについて」というテーマで県農政部専門技術員の松田直人氏が、阿蘇地域の土壌の概要、特徴、分布、土づくりと耕畜連携の必要性などを具体的に述べました。

このセミナーは、家畜排せつ物管理に関する法律（平成11年度施行）に対する家畜農家の対応を支援するとともに、処理された堆肥の利用について、畜産農家と耕種農家の地域内利用システム整備を推進することを目的として開催されたものです。

現在（平成15年1月）、阿蘇管内には家畜排せつ物管理に関する法律の適用対象農家が485戸あります。その整備状況は、整備が済んでいる農家192戸（40%）、整備予定農家99戸（20%）、簡易対応・整備計画なし農家191戸（39%）となっています。

そのため、平成16年10月までに野積みや素掘りがなくなるように、家畜ふん尿処理施設が必要となります。

作物に合わせて調整堆肥化が可能

家畜排せつ物処理施設の整備を進める上での課題は「耕畜連携による土づくりの推進」です。そこで、ペレット堆肥（成分調整成型堆肥）による堆肥の広域流通に関心が高まっています。

「ペレット堆肥（成分調整成型堆肥）」とは、家畜ふん堆肥や菜種油粕などの有機質資材を、作物別に作物の肥料要求量に合わせて混合調整し、成型した減・無化学肥料栽培用の有機質資材です。

近年、耕種農家の堆肥利用量が減少してきていますが、堆肥を利用しないという主な理由は、(1)化学肥料と違い肥料の効き方が異なり栽培管理がやりにくい。(2)労力がかかる、機械散布の手段がない。(3)コストがかかる—などです。

ところが、家畜排せつ物管理に関する法律により堆肥の供給量はますます増大し、九州では県域を越えた堆肥の広域流通も必要となっています。ペレット堆肥（成分調整成型堆肥）は、堆肥の散布手段を持たない耕種農家にとって手持ちの機械（石灰散布機＝ライムソーワ―やブロードキャスト）で、化学肥料感覚で散布できるというメリットがあります。

九州沖縄農業研究センターでは日量6tの生産規模のパイロットプラント（試作工場）を建設し、大豆・麦（九州沖縄農研センター）、キャベツ・イチゴ（福岡県）、トマト・メロン・スイカ（熊本県）、カボチャ・カンショ（鹿児島県）用のペレット堆肥（成分調整成型堆肥）の利用試験を行っています。

※本文の作成に当たってはセミナー資料を参照しました。



ペレット堆肥 (成分調整成型堆肥) とは

直径3～8mmの円筒状の形をした「ペレット堆肥(成分調整成型堆肥)」は、成型されているため肥効が均一であり、化学肥料換算の成分調整を行っているので、化学肥料感覚で利用できるとともに、化学肥料栽培と同等以上の作物生産ができます。また重量・容積ともに堆肥の状態の半分程度に減少しているため、貯蔵容積、輸送経費が半減できます。

【ペレット堆肥】

熟度の進んだ堆肥を水分含量20%程度に落とし造粒機で円筒状に成型したもの。畜種に関わらず造粒は可能であるが、おがくず等が未分解のまま含まれると造粒が困難となる。

【メリット】

- (1) 取り扱いが容易である
- (2) 容積が1/3に縮減できる
- (3) 保管庫の縮小化と運搬量が増加できる
- (4) 作物の肥効に合わせた調整堆肥化が可能である

【デメリット】

- (1) 専用施設が必要
- (2) 生産コストが8円/kg

【例/牛ふん堆肥の成分組成】

PH(8.0)、EC(4.9)、チッソ(2.2)、リン酸(2.9)、カリ(2.9)



豚ふんペレット

JA植木まつり 天候や不況などで入場者 と販売額減少

早春の風物詩となっている「JA植木まつり」が1月25日から2月24日まで、県農業公園カントリーパークで開催されました。

JA熊本経済連とJA阿蘇など県下11JAが主催する植木まつりも今回で28回目を迎え、庭木や花、鉢物、日本庭園や洋風ガーデンの見本、園芸資材など約120万点が出品されました。併せて各JAの農産品や農産加工品などの特産品も展示即売されました。また、さまざまなイベントも開催され、家族連れやグリーンライフの愛好者で賑わいを見せていました。期間中の入場者は約29万6,100人、販売額は約4億2,500万円でしたが、天候不順や不況などの影響で前年に比べいずれも減少しました。



JAあそ「旬な男・鮮な女」(2)

「JAあそだより」前号から始まった『JAあそ“旬な男・鮮な女”』は、JA阿蘇の旬で燃えている男性と、粋でフレッシュな女性を紹介するページです。このページへの掲載は

給料が高くなるように頑張るぞ！

村上 祥一さん (昭和56年2月生まれ)
阿蘇町小里137-5



小さい頃は学校の先生になりたかったという村上祥一さん。現在、バラ栽培のハウス1棟(15a)を任されています。家族は本人に祖父・祖母・両親と弟の6人。営農は米作と花卉(バラ)栽培が主です。バラは熊本花き市場(熊本市南高江)に週2回のペースで出荷しています。阿蘇町では村上さんのほか5~6戸でバラが栽培されています。

作業は冬場が午前8時半から午後6時頃まで。夏場は午前6時から午後7時頃までです。朝、ハウスに入って先ず行う作業は、10数種類1万本以上あるバラのチェックです。病気が見つければ消毒を行います。続いて水やり、脇芽摘みなどの作業をします。作業できついと思うのは枝の曲げ方だそうです。多忙な夏場は暑さも加わり頭の中までポーッとなるそうですが、バラ栽培のメリットは年中出荷できるという強みです。バラを作っていて良かったと思うことは、例えば卒業式のお祝いに消費者が直接ハウスまでバラを買いにきてくれて、「きれいですね！」と喜んでくれたときだそうです。

今後の課題を「今、親から貰う給料が安いので、高くなるように頑張りたい。バラだけでなくデリフィニウムの栽培にも挑戦したい」と答えました。

趣味はスポーツ、中でも野球。好きなタレントは内山理名とユンソナだそうです。



自薦他薦、年齢など資格は一切問いません。お気軽にご応募ください。お問い合わせは「営農部」または「営農センター」へ。

何よりも高品質の花弁を作りたい

白石 恵美さん (昭和51年10月生まれ)
高森町河原3427



愛児の和馬クンと

恵美さんは平成12年秋、熊本県立農大の同級生であった夫の豊和さんと結婚し、熊本市から高森へ嫁いできました。「本当は主人に拉致されたんです」と笑いながら、「イノシシやシカ、タヌキなどが時々出てきますが、空気も景色も良く、交通事故の心配もあまりないので、子育てにはいい環境です。でも、同世代の人が近所に少ないのが寂しい…」と語り始めました。

現在、白石家は1歳4カ月の和馬クンと夫の両親、祖母との6人暮らしです。豊和さんから見た恵美さんは「元気が良く、明るい性格」だそうです。

営農の形態は加工ダイコン、種馬鈴薯、繁殖牛10頭、花卉(デリフィニウム、トルコキキョウ、グラジオラス)です。花卉を豊和さんと恵美さんが担当し全量をJAに出荷しています。恵美さんの実家も米とナスを主に作っており、農業に就くことに抵抗感はありませんでしたが、牛はまだ苦手だそうです。

恵美さんは「今は仕事より子育てに追われて、仕事が思うようにできない歯がゆさがあります。でも、家事や育児に家族が協力してくれるからありがたいです。将来の夢としては、まず、経営基盤を安定させること。そして何よりも高品質の花弁を作ることです」と話を結びました。趣味は書道。好きなテレビ番組は

目下のところ、和馬クンと一緒に見る「おかあさんといっしょ」だそうです。



あなたのご意見をお聞かせください



「意見投書箱」がJA阿蘇各中央支所に置かれています。投書は便せんでも普通の用紙でも、この広報誌を利用されても結構です。また、投書は匿名でも結構です。

J A阿蘇の旬なオリジナル情報を全世界に発信する「J A阿蘇ホームページ」が、今年1月よりスタートしました。内容はJ A阿蘇の概要・組合長挨拶・支所案内・産地直送の紹介・イベント情報・事業案内・施設案内・農産物産地マップ、さらに阿蘇郡各地の行事や観光案内なども盛り込まれ、実に多彩なメニューとなっています。

J A阿蘇のホームページがスタートしました！
<http://www.jaaso.or.jp/>

阿蘇農業協同組合

J A 阿蘇

自然の恵みどっさり・J A阿蘇

組合長



「阿蘇地区は一つ」を合言葉に 阿蘇郡内のJAが広
 域として、平成13年4月1日にスタートしました。この
 う火山で有名な阿蘇山を中心に12ヶ町村からなり、
 い森林、あちこちに湧き出る清らかな水と豊富な温泉
 人が住み、年間1800万人が訪れる観光地となつて
 ました。「肥後の赤牛」や「ジャージー牛」をはじめとす
 に生まれた「阿蘇コシヒカリ」の米づくりや「大豆」、
 「ほうれんそう」「キャベツ」「生シイタケ」「大根」が
 の一大産地となっております。

近年は「メロン」「番」「トマト」「きゅうり」「切り花」などへの取り組みが実
 が産地・生産されており。農業を取りまく環境変化は年々厳しさを
 の川の源流でもある阿蘇高原の汚れを知らぬ大自然の恵みを生かし、
 家・行政・地域住民・観光客そして消費地の方々が「安心して食
 の役割を発揮し、より豊かな地域社会を目指しております。
 これからグローバル化やIT活用が進展してゆくこととなります。
 の開設を機に、地域の情報やJA阿蘇の取り組みを、アップデートに
 ご期待ください。

◀ Back Next ▶



組合長
 組合長のあいさつ

支所案内
 各中央支所の案内から
 各中央支所のページへ

お知らせ 組合員へ
 組合員向けのJA阿蘇の
 活動予定・報告

産地直送
 生産物の直販案内
 消費者および業者向け

JAのイベント情報
 JA阿蘇が開催する
 イベントの案内

事業案内
 ・金融 ・共済
 ・購買 ・営農

JA施設案内
 地域および消費者への
 JA施設の案内

農産物産地マップ
 阿蘇郡内での生産物の
 特産と産地を案内

出荷先の案内
 出荷市場およびメーカー、
 店舗を案内

直売場の案内
 JA阿蘇の直販施設の案内

阿蘇郡各地の行事
 阿蘇郡内の町村・
 観光協会等のHPにリンク

阿蘇郡の観光施設
 阿蘇郡内の観光施設の
 案内およびリンク

リンク
 阿蘇郡内を中心に
 HP発信先をリンク

問合せ相談コーナー
 JA阿蘇へのHPでの
 問合せ・相談窓口

直販案内
 JA阿蘇では、生産物の直販を行っており

ジャージー牛乳セット



- ・牛乳(1000ml) × 2
- ・カフェオーレ(1000ml) × 2
- ・ジャージープリン(85g) × 6
- ・ジャージーバター(200g) × 1

※ お問い合わせはこちらから

ジャージー牛乳・チーズ・バターセット



- ・エダムチーズ(250g) × 1
- ・ジャージーバター(200g) × 1
- ・チェダーチーズ(250g) × 1

※ お問い合わせはこちらから

ジャージーヨーグルトセットA

¥2,700

発行

阿蘇農業協同組合総務部総務人事課
 〒869-2612 熊本県阿蘇郡一の宮町宮地387-5

TEL 0967-22-6111
 FAX 0967-23-1088